

京都大学経済研究所 平成 25 年度プロジェクト研究
「経済システムの多様性と労働モチベーションに関する比較経済学分析」主催
国際コンファレンス「資本主義の多様性と労働モチベーションに関する国際比較」
“International Comparison on Variety of Capitalism and Work Motivation”

【開催の趣旨】

本国際コンファレンスは経済システムの多様性およびシステム変容の視点から労働モチベーションを捉え、比較経済学の新たな分析視座を提示することを目的とする。本コンファレンスでは、①経済システムに固有の動機づけ・刺激メカニズム、②人的資源管理・経営労務管理、③労働者・社会の価値観や行動様式という 3 点に着目して、働き方・労働モチベーションを考察する。多様な経済システムとそこでの労働モチベーションの特徴に関する実証研究および比較労働社会論の理論研究を重ね合わせることで、セッションを組み立て、本テーマに接近する。コンファレンスを通じて、経済システムの型だけでなく、価値観・スキル・行動様式、さらに経済システムの変容に伴うステークホルダーの変化と市場の型が労働モチベーションの独自の内容と型を規定することを明らかにするとともに、そうした分析ツールを比較経済学の視座に組み入れることが可能となることを提示しうる。

【開催日】 2013 年 12 月 14 日（土）～15 日（日）

【会場】 京都大学時計台記念館国際交流ホール I・III（時計台記念館 2 階）

14 日はホールIII、15 日はホール I となります。

【プログラム】

第 1 日目 労働生活の変化と労働モチベーションの国際比較

時間：13：20～18：00

開会の辞：溝端佐登史（京都大学）、林裕明（島根県立大学）

セッション I 「資本主義の類型と労働モチベーション」 13：30～15：30

司会：岩崎一郎（一橋大学）

報告者と論題：

①遠山弘徳（静岡大学）「協調的経済と労働生産性 - ロジットモデルにもとづく労働と再分配選好の関連に関する分析」

②松原仁美（大阪市立大学）「フランスにおける週 35 時間労働制と雇用政策の変化」

③里上三保子（京都大学大学院）「ドイツ労働市場改革と労働モチベーション」

④溝端佐登史（京都大学）「CSR の視点から見たロシアの労働モチベーション」

討論者：岩崎一郎（一橋大学）、堀林巧（金沢大学）、堀江典生（富山大学）

セッションⅡ「労働の現場と労働モチベーション」16:00～18:00

司会：小西豊（岐阜大学）

報告者と論題：

- ①伊原亮司（岐阜大学）「モチベーションを下げる労務施策、コントロールが困難な職場文化—日産自動車のケース」
- ②橋口昌治（立命館大学）「職場における無法状態の広がりと働くことへの信頼」
- ③藤原克美（大阪大学）「ロシア企業から考える労働モチベーションの課題」
- ④林裕明（島根県立大学）「ロシアにおける働き方の変化と労働モチベーション—日本との比較を中心に」

討論者：上林憲雄（神戸大学）、小西豊（岐阜大学）

18:30～プロジェクトメンバーによる打ち合わせ

第2日目 公開講演会「多様な資本主義像と職業生活の変容—国際比較の課題—」

時間：9:50～17:40

趣旨説明：林裕明

I 午前の部 基調講演 10:00～12:00

講演者と論題：

Simon Clarke (University of Warwick, United Kingdom)

“Labour Motivation and the Labour Market in a Soviet-type System: Russia and China

Geoffrey Wood (University of Warwick, United Kingdom)

“Vanishing Complementarity: Why National Institutional Arrangements Work Less Well than they Used To”

II 午後の部 講演会 13:30～16:50

講演者と論題：

Pavol Babos (Slovak Academy of Sciences, Slovakia)

“Variety of labor markets within the varieties of capitalism in Central and Eastern Europe”

Ngoc Anh Nguyen (National Economic University, Vietnam)

“Social Capital: An important element of work motivation in the enterprise - case in Vietnam”

Richard Deeg (Temple University, USA)

“Financialization and Institutional Change in Capitalisms: A Comparison of the US and Germany”

Ⅲ 総括セッション 17:00~17:40

司会：林裕明

パネリスト：Simon Clarke, Geoffrey Wood, Martina Lubyeva, Ngoc Anh Nguyen, Richard Deeg,
溝端佐登史、藤原克美

18:00~懇親会（会場：カンフォーラ）

※カンファレンスへの参加について

【対象】 どなたでもご参加いただけます（要申込）

【参加費】 無料

【定員】 メール申込による先着順。定員に達し次第、締め切ります。

【参加申込】 参加のご希望は、島根県立大学 林裕明（h-hayashi*u-shimane.ac.jp *を@にご変更下さい）までメールにてお申込ください。その際、以下の項目について漏れなくご記入ください：ご氏名(ふりがな)・ご所属・ご身分・ご連絡先、懇親会への参加・不参加。

なお、お申しいただきました個人情報につきましては、本カンファレンスに限って使用させていただきます。

京都大学時計台国際交流ホールⅠ・Ⅲ

